

令和6年度 第2層協議体活動報告会 ～地域的心声をキッカケに解決できる取り組みへ～



全国的に高齢化が進んでいます。このことは橋本市でも同様です。そんな中、これからも自分たちが住む地域で、安心して暮らし続けるためには、いざという時に駆けつけてくれたり、ちょっとしたお手伝いを頼めるような地域を創っていくことが必要です。そのために、日ごろから声をかけあったり、気にかけてあったりするような地域づくり「つながりのある地域」が大切です。そのため、地域づくりの基盤となる「協議体」を市内各地域に設置し、住民のみなさんが主体となつて話し合いが進められています。現在、10地域に第2層協議体が設置されています。協議体の進捗状況や地域の取り組みなどを紙面にてご紹介します。



▲金川めぐみ氏。報告会の進行もしていただきました。

去る、2月15日（土）橋本市保健福祉センターにおいて、たすけ愛はしもと（第1層協議体）主催による、第2層協議体活動報告会を開催し、関係者が一堂に会しました。

今回は、2つの協議体から、実践されている助け合い・支え合いの取り組みについて、経緯や詳細についてお話しいただきました。

また、和歌山大学経済学部長・教授の金川めぐみ氏より、地域のニーズを一番に知るのは地域のみなさん。地域の人がお互い様の関係づくりを大切にしていくことが大事な点である等についてお話しいただきました。

「ゆるやかな居場所」

高齢者食堂キッチンかむろ

発表者 東 美樹氏



絆♥学文路(第2層協議体)

では、令和3年12月から、買物に不便を感じている高齢者への支援として、民間企業と協働して移動スーパーを始めました。

始めるにあたり、東さんは地域の高齢者に声掛けに回ったところ、一人暮らしの高齢者の方から「最近ずっと一人で食事していて寂しいわ。うちにご飯食べにきてよ」と言われたそうです。

早速、生活支援コーディネーター会議で情報を共有し、自分達でできることは何かに

ついて、何度も話し合いを積み重ねてきました。地域の方で管理栄養士や調理師など心強い仲間も次々と見つかり、令和5年4月から、学文路地域内にお住まいの高齢者を対象とした「高齢者食堂キッチンかむろ」をスタートしました。

お一人500円。定員50名。毎月第3金曜日。11時30分から学文路地区公民館で行っています。

高齢者の方楽しく会食してもらい顔見知りが増えるキツカケにもという思いを大切にされています。

東さんは、「みなさんから、美味しかった、賑やかで楽しいといった喜びのお声をいただくことが、私たちのやりがいでもあります。これからもう楽しんで取り組んで行きたいと思います」と話してくれました。



「ありがとうが嬉しい!」

ささえ愛高野口

発表者 廣岡慶三氏



ささえ愛高野口(第2層協議体)

では、令和3年から、高齢者の日常生活の中でちょっとした困りごと(草引き、ゴミ出しなど)をお手伝いする有償ボランティア制度を実施してきました。

活動している中で、地域の方との何気ない会話から、高野口駅から市民病院までの送迎バスがなくなり不便しているという話をよく聞くようになったようです。

ささえ愛高野口の有償ボランティア制度の中には、移動

支援のメニューは、ありませんでしたが、橋本市からの自動車の貸与もあったので、自分達でできる範囲でやってみようという部会を立ち上げました。研修会への参加、先進地への視察などを約1年を経て移動支援が、令和6年4月から始まりました。

高野口地域(名倉・大野・向島)にお住まいの高齢者の方で自己管理できる方が対象で、利用を希望する場合は会員登録が必要です。チケット制で30分400円。

運転手の方も会員登録が必要で、現在、運転手の方を大募集中とのことです。

廣岡さんは、「ほとんどの方がありがとう、本当に助かっています。と言ってくれることが本当に嬉しく感じています。これから前へをモットーに楽しく取り組んでいきます」と話してくれました。